みんなの文芸

引間豐作選　投稿数21句

風荒れし朝の蹲桐一葉　金沢　飯嶋満寿子

(評) 仲秋の頃になると、台風とまではいかなくとも、かなりの風雨に見舞われることがある。この句も昨夜の強い風に近くの桐の木の葉が風に舞い散って、軒先の蹲に被さった情景を詠んでいるが、余分な言葉を用いず、要点のみを抽出して、手際よくみせてくれる作者の感性の素晴しさに感服。良夜とは、秋の月がくまなく照らす夜のこと。今ではもっぱら名月（陰暦八月十五日・十五夜）の夜をいうようになった。戸外で虫の音を聞きながら、月を愛でるのも時にはよいだろう。

縁台に猫とふたりの良夜かな　三沢　眞下　杏子
満月やカットグラスの影さやか　下日野沢　江野　鎰子
振り向いて親探しをり運動会　皆野　太幡真由美
副都心くっきり山の秋澄める　三沢　長谷河ソノ
送る陽の暮色に染むる千草かな　三沢　新井　民子
吟行に縁なき今日も薄刈る　下日野沢　髙山　ユウ
新牛蒡煮物の味を引きたてる　三沢　澤野　恒平
竿先にさそわれ休む秋あかね　下日野沢　引間富美子
落つ柿のポツンと一つ峠道　皆野　市川　岳樹
栗入れて炭酸饅頭ちと蒸す　皆野　引間　千鶴
口ずさみ句を型作る夜長かな　皆野　関根　助市
草むらに鳴ける鈴虫我を呼ぶ　金崎　設楽　武子

中田久惠選　投稿数18首

ほろ酔ひの源氏の君にあの角で出交しそうなきょうの満月　皆野　豊田喜美恵

(評) 昔からの諺に十五夜には曇りあれど十三夜には曇りなしと云われているが、今年は珍しく十五夜の満月を拝むことが出来た。結句の「きょうの満月」がこの歌の命である。自分の情感を自分の言葉でリズム感よく表現した点に強く打たれ秀歌とした。又、与謝野晶子を彷彿とさせる歌風でもある。笠原さん潔い決断で「針箱を閉ず」と詠まれ、今後平穏でお幸せな老後であります様お祈り申し上げます。「まち針の花の色いろ針差に咲かせ縫いあぐ夜半の秋かな」と三江子さんの短歌を鮮明に思い出しました。

裁ち縫ひをなして五十年経しわれは寄る年波に針箱を閉ず　皆野　笠原三江子
愛しみの吾子達夫婦と安らぎて秋たけなわの宿に満ち足る　皆野　新井　愛子
夭折の子の齢数え長き夜の狭庭の月に弧影描きをり　三沢　長谷河ソノ
秋耕の今日の暮れ行き菜を間引く明日を夢見て鍬洗いをり　皆野　関根　助市
賜わりし生命傘寿を越えにけり胸に余生の夢あたためて　皆野　根岸　詩子
今昔を問はず災害の凄じき鬼押出しの奇岩におののく　三沢　新井　叶子
万人を四季折々に楽しますこの絶景を新橋成りて知る　皆野　引間　万亀
姑の言ういつ迄世話に成るのかと聞くたび人の運命と答う　三沢　鈴木　貞恵
訪なふに仕分け袋を携へて誰彼に逢ふ六十路なる秋　三沢　新井　民子
舅と夫の採り来しきのこのおっきりこみ味の深さを今も忘れず　三沢　眞下　杏子
招かれし慶寿の祝いに感謝なす老を犒ふ言葉の嬉し　下日野沢　浅見　豊子
無常にもすべての過去を奪い去る友発病しわずか一年　皆野　桜井　早苗

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して総務課へお寄せください。

8日必着

1人1句、1首に限ります。

1歳のお誕生日おめでとう

めいちゃん
戦場・土京区
門平　宗久さん
幸美さん

誰からも愛されますように♡
我が家のマスコットガール
めいです。

比路（ひろ）くん
根岸区
中島　賢一さん
明子さん

比路、お兄ちゃんと仲良く
元気で遊んでね。いつも
いい笑顔を家族にありがとう。

圭助（けいすけ）くん
下大浜区
大濵　由浩さん
愛子さん

１才の誕生日おめでとう！
これからもすくすく大きく
なってね。

梓（あずさ）ちゃん
下原区
川井　俊幸さん
久美子さん

お姉ちゃん、お兄ちゃんと
仲良く遊んで、大きくなってね。

花穏（かのん）ちゃん
下原区
櫻井　浩之さん
香代子さん

いつも元気な花穏☆
明るく穏やかに育ってね♡

※満１歳の赤ちゃんを募集します。12月号の締め切りは、11月10日㈭まで。ホームページからも応募できます。